

ぎかいだより むらやま



写真/
西郷ミニバスケットスポーツ少年団（白ユニフォーム）
山形県交歓大会にて

<http://www.city.murayama.lg.jp> 携帯からはコチラ→



2017

vol.92

2017年1月15日

発行

対談

SMILING FACE TALK



——本日はお忙しいところ議長との対談にお越しくださいます。ありがとうございます。

さる12月19日議長公室において議会だより編集委員とともに対談を行いました。海外から見た村山市に対する意見が出されました。

海外にも通じる村山市の魅力をも、受け取ってもらえるような情報発信が大切ですね。



第24代議長 森 一弘

(ナジュワ) 私はマレーシア生まれで20歳のときに山形大学工学部に留学、米沢で勉学中に研修助手をしてい

現在地域おこし協力隊として活動されているナジュワさんですが、村山市に来るようになった経緯などを教えてください。

た妻と知り合い結婚しました。その後、千葉に2年間滞在していました。子どもが出来たことを契機にのびのびとした環境で子育てをしたいと思い、妻の実家(山形)に戻ろうかと考えていたときに、移住フェアで村山市を知り、いろいろ勉強した結果、「村山市はとても良いところだ。」と思います、村山市の地域おこし協力隊に応募しました。

——地域おこし協力隊として、どこに力を入れていきますか？

(ナジュワ) 村山市は、私たち外国人にとって魅力的な「居合」の発祥の地で、歴史に惹かれるのですが、現在の「居合神社」は何もなく凄くさびしいので情報を発信していきたいと思っています。

村山市の商店街は日本らしい街並みです。今は、元気が無いようですが、若者の力を借りながら商店街の活性化を図っていききたいと思っています。

(森) 若い人や外国人から見ると、村山市の商店街は歴史があり、活性化出来るのではないのでしょうか。「居合」は日本にただ一つの神社があり「居合道」というのは新鮮なのではないでしょうか。

(ナジュワ) 外国人は、日本の文化に憧れを持ってきます。特に、

「侍」と「忍者」です。「侍」の体験をしたい人がいっぱいいます。実際に刀を振ることはできなくても、実際に現地にきて写真を撮れば魅力的な場所になります。

(森) 剣道は知られているが、村山市が「居合」の発祥地だと知らない人が多いですね。今、村山市では「居合」に光を当てようとしているので頑張っていただきたいと思っています。

——山形大学の留学生を招待して村山市の情報発信を行ったそうですが、

(ナジュワ) 山形大学に在学している留学生を招待して観光地をまわって写真や動画を撮ってインターネットで発信してもらいました。1回目が8月で2回目を11月に実施しました。2回目にはリーダーも出て「村山

新春笑顔

市はとつても良いところだ。「村山市は絵みたいでとてもきれいだ。」など、素晴らしい意見がいっぱいありました。

ことは、友達や母国にも発信されているので、凄くPR効果ですね。最上川を見たときの感想はどうでしょう？

(森) 我々もいっぱい発信してきたけれども、足りていないんですね。ナジュワさんがインターネットで発信する

(ナジュワ) 最上川美術館から大淀の風景を見て、これぞ日本だと感動しました。舟下りも乗りましたが、風景

村山市には魅力がいっぱいあり感動の連続です。



地域おこし協力隊
モハマド ナジュワさん

(森) 村山市に来て半年が過ぎ、徳内まつりがすばらしかったです。

がすばらしかったです。

地域おこし協力隊 モハマド ナジュワ アブ ハッサンさん



マレーシア生まれ、山形大学工学部に留学し物質化学を専攻。2年間千葉に暮らし、会社員として勤務。28年4月に、妻とともに地域おこし協力隊に着任。昨年秋、第一子が誕生し、海外からの視点で活動しています。
(楯岡在住・27歳)

も参加されたそうですが、いかがでしたか？

(ナジュワ) 徳内まつりでは「十日町」の団

ます。ホームページや観光地の案内看板を英語表示していきたいと思えます。

体に参加しました。踊りと太鼓をさせてもらいました。町全体が一丸となって自分たちの町を盛り上げていこうと元気を感じた3日間でした。反省会では思った以上に熱かったです。若者が泣きながら「こうすれば良かった。」と話し、若者の情熱に感動しました。

市内の飲食店のメニューを外国人にも分かるように、写真でメニューを作ったらいと思っています。また日常の村山市を見たくても交通の便が悪く冒険できません。もう少し交通の便がよければいいと思います。その他、村山市にある「居合」「徳内まつり」「そば」も発信していきたいと思っています。やりた

—— 今後はどのような活動をしますか。

—— 本日は、ありがとうございました。

(ナジュワ) まだまだ発信不足だと思っています。

—— 本日は、ありがとうございました。

12月定例会

審議・議決結果報告

11月30日から12月14

日の会期で12月定例会
が開催され、条例6件
一般会計及び特別会計
補正予算4件、請願1
件、大山正弘議員の市

政功労者表彰、その他
の議案11件及び議員辞
職に係る議決事項1件
が原案のとおり可決さ
れました。

その結果、一般会計
歳入歳出それぞれ1億
8千868万円を追加し、
総額129億7千993万3千
円となりました。

条例

・村山市農業委員会の
委員及び村山市農地利
用最適化推進委員の定
数を定める条例（法律
の一部改正に伴う改
定）（全会一致で可決）
・村山市障害支援区分
判定審査会の委員の定
数を定める条例の一
部を改正する条例（法
律施行令の一部改正に
伴う改定）

（全会一致で可決）

・村山市介護保険条例
の一部を改正する条例
（法律施行令の一部改正
に伴う改定）

（全会一致で可決）

・村山市職員の勤務時
間、休暇等に関する条
例の一部を改正する条
例（県人事委員会の勧
告等を踏まえた改正）

（全会一致で可決）

・村山市特別職に属す
る者の給与等に関する
条例の一部を改正する
条例（市長等及び議員
の期末手当の支給割合
の改定）

（全会一致で可決）

・村山市一般職の職員
の給与に関する条例等
の一部を改正する条例
（県人事委員会の勧告
等を踏まえた改正）

（全会一致で可決）

請願

・介護保険制度におけ
る軽度者への給付を継
続する旨の意見書を提

出することを求める請
願（全会一致で採択）

議員発議

・介護保険制度におけ
る軽度者への給付を継
続するよう求める意見
書の提出

（全会一致で可決）

・地方議会議員の厚生
年金への加入を求める
意見書の提出

（賛成多数で可決）

主な補正項目

・福祉灯油代支援扶助
費 405万円
・経済対策臨時福祉給
付金 8千250万円
・保育所保育業務委託
料 766万3千円
・保育対策総合支援事
業費補助金 200万円
・ひとり親家庭等医療
扶助費 275万8千円
・鳥獣被害軽減モデル
事業費補助金 89万6
千円
・除雪委託料 5千万
円

・消防施設維持管理修
繕料 30万4千円

・消防施設整備工事請
負費 74万8千円

・中学校管理運営修繕
料 164万円

・スポーツ振興事業
168万8千円

・市民体育館長寿命化
等基本調査業務委託料
500万円

各会計補正額

(単位：千円)

会計	補正額	補正後の額
一般会計	188,680	12,979,933
国民健康保険事業	12,300	3,113,348
介護保険事業	3,978	2,702,565

お詫び

このたび、現職議員が逮捕された
ことにつきまして、市議会として
重く受け止めているところでござい
ます。

市民の皆様にご迷惑をおか
けたことを深くお詫びをし、議員
として、より一層規律ある行動をと
ることを申し合わせるとともに、今
後、議会の信頼回復に向け、議員一
丸となって取組んでまいりますので、
ご理解賜りますようよろしくお願い
いたします。

村山市議会議長 森 一弘

辞職に伴い、常任委員会などの変更があ
りました。

産業厚生常任委員長 川田 律子

産業厚生常任副委員長 菊池 貞好

議会運営副委員長 中里 芳之

議会運営委員 菊池大二郎

議会だより編集委員 高橋菜穂子

地方創生対策特別委員 結城 正

代表質問



市民生活の向上に向け、施策を問う

市政・公明クラブ 秋葉 新一 議員

次期市長選について決意を伺う

Q 市長就任4年目を迎え、雪の完全除排雪を初め、保育料半額の実施、夢心援奨学金基金の創設、若者の定住促進事業などのソフト面の充実、交通インフラの整備、駅西商業施設の導入、駅西口ホテルの誘致、新たな保育施設建築などの民間活力を活用してのハード面の施策など高く評価します。次期市長選への決意を伺う。

A 若者の定着に向けた事業などさまざまなことを進めて、市民からようやく市政に動きが見えるようになったと言われ、ここで終わってはいけないうると思った。いろんな事業がまだ道半ばだ。夢のある村山市の実現のため、次期もがんばりたい。

新生児聴覚検査費用の助成をすべきでは

Q 新生児の千人に1人か2人の割合で難聴が発生するといわ

れる。新生児聴覚検査費用への助成の考え方を聞く。

A 早期発見・早期治療が重要と認識している。検査費用の公費助成の実施に向け検討する。

子育て情報をスマホなどで閲覧できるサービスを

Q マイナンバーを活用し、乳幼児健診をはじめ、母子の健康に関する情報をスマホやパソコンで閲覧できるサービスの提供を。

A 子育てをきめ細かくサポートする新たな情報提供サービスとしてモバイルサービスを活用したアプリの導入を検討する。

有害鳥獣被害への対応が必要

Q 有害鳥獣被害は深刻になってきている。更なる対応が必要だ。

A 電気柵への補助、狩猟免許取得の補助制度も視野に入れ検討する。農家だけでなく市民全体で対策を認識してもらうため、広

報活動、研修会を実施する。

特産物「じゅんさい」を守れ

Q 特産物「じゅんさい」を農業振興のみならず、環境、観光面からも考えるべきでは。

A 組合員の高齢化としての自然環境の変化によりじゅんさいの収穫量は減少している。組合員の拡大への取り組みと観光、環境面からも、じゅんさい組合をはじめ関係機関と協力し有効になる改善策を探っていく。

小規模企業振興条例の策定を

Q 「ものづくり」の村山市として商工業振興の一層の推進を図るべきと考える。「小規模企業振興条例」の策定を。

A 小規模企業は、村山市の地域経済を支えている大変重要な要素であると認識している。中小企業・小規模企業の振興・持続的

な発展を図る面からも基本条例策定に向け検討する。また小規模事業者持続化補助金を補完する補助制度も考える。

インバウンド拡大の取り組みは

Q 海外からの旅行、インバウンド拡大に向けての取り組み、そして観光戦略は。

A 「居合の里」村山を発信すべく居合道に関するホームページ

を開設した。英語翻訳、外国語表示の看板設置、無線LAN環境は、費用対効果を考慮し検討する。

ふるさと納税の税収アップ対策は

Q ふるさと納税は自治体の発想力、発信力が問われる。税収アップ策と取り組みは。

A さくらんぼ、雪むろ米などの返礼品の充実とクラウドファンディングを模索する。



最上川ビューポイント（大淀）

ここが

聞きたい

一般質問

Q & A

本定例会の一般質問は12月5日・6日に8人の議員が行いました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

Q 県教委調査でH28年4月～7月のいじめ件数は3千185件で、

収納管理を徹底する。新たな滞納者を出さないため、現年度滞納者にきめ細かな対応と個別訪問を続ける。

A 税は自治体の基盤性となるもの、公平性を重視し納税意識の向上を図るとともに、法の範囲での差し押さえ、換貨などの処分を行い収納率向上を図りたい。徴収強化のため徴収訪問・電話催告などで相談を実施している。滞納者にきめ細かな対応と個別訪問を続ける。新たな滞納者を出さないため、現年度

Q H27年度市税収入24億6千万円。収入未済額（滞納額）2億3千200万円、不能欠損額1千980万円、税収の10・2%になる。税収の少ない村山市の大きな課題と考える。税収向上対策を伺う。

前年同期比556件増え小学校低学年と中学1年が増加傾向にある。村山市のいじめ状況、件数を伺う。

A いじめ行為は徹底して悪いと指導しなければならぬ。早期発見早期対応が重要。

報告で解決終了でない。村山市は小学校32件、中学校61件ある。H26年3月にいじめ防止基本方針を策定し施行している。各校でも実態に即した基本方針を作り具体的な取り組みを行っている。



納税意識の向上を図る

長南 誠 議員



村山市青少年健全育成標語



東北中央自動車道の早期開通を

結城 正 議員

Q 東北中央自動車道の土地買収問題が未解決であったので工事が遅れていたが、解決したようであり工事が進むと思われるがどうなっているのか。

A 尾花沢ICと大石田IC間の供用開始時期、大石田ICと東根ICの使用開始時期はいつ頃になるのか。

尾花沢ICと大石田IC間については、H29年度中に供用開始になる。明確になり次第お知らせする。なお、名称については、大石田村山ICとのことで進めている。大石田村山ICと東根ICの使用開始については、3年後ぐらいになるのではないかなるべく早く開通できるように努力していく。



早期着工が待たれる調整池予定地

Q 大巨川の河川改修事業計画の中の調整池、河島地区内連絡水路の工事の進捗状況どうなっているのか。

調整池は、5月に予定地の測量をしている。連絡水路については、土地買収も終了していると思うが。

A 調整地の工事については、県の方でH29年3月までに地元説明会を開催する予定になっている。

連絡水路については早く工事に取りかかりたい。



東京五輪に向けた積極的な展開を

菊池 大二郎 議員

Q 東京五輪開催に向け、文化的な交流などを目的としたホストタウン登録に名乗りを挙げたねらいは何か。

A 結果的に青少年やこれからの人材の精神的支柱になれば。

Q 私は観光事業、交流人口の拡大がねらいと考える。一方で教育面からのアプローチも大切。郷土史を英語教本にして青少年が海外に村山を発信できる力を養成するのも良い。次に、ブルガリア新体操チームを軸とした交流を行っているが既に同国とホストタウン登録済の福岡県宗像市との競合を制する戦略は。

A 新体操協会との強い人的関係があること、同協会が温泉に興味を示していること、県優勝の新体操部が地元中学校にあること、既に同国との基本合意があること、飛行場から近い利便性が本市にとって有利。



バラで繋がるブルガリアとの交流事業に期待

Q 今後、市民全体で盛り上がっていくためにも担当課だけでなく全庁挙げて、新体操指導者も交えたチーム作りが必要では。頑張ってもらいたい。

A なお、本質問後のH28年12月9日に内閣府からブルガリアとのホストタウン登録の認定を受けた。

Q 今後、市民全体で盛り上がっていくためにも担当課だけでなく全庁挙げて、新体操指導者も交えたチーム作りが必要では。頑張ってもらいたい。



公共交通の整備と 福祉灯油券実施を

中里 芳之 議員



市営バス山の内～北村山公立病院線

Q 高齢ドライバーによる事故をなくすためにまずやるべきは、公共交通の整備だ。市営バス・乗合タクシーの課題と今後は。

A 公共交通空白地帯やバス停から遠い区域もある。「ドアから

ドアへ」のニーズが高い。乗合タクシーのエリア拡大、まち協主導によるコミュニティバスなど、多様な検討をしていく。

Q 「市営バスの総合的見直しや乗合タクシーの拡充」をする

とって一年経つが、現在の到達点は。

A 実施に向けて予算の付け方を考えているが、やれなかった時の反動が大きいので、もう少し待つてほしい。ヤマザワのオープンには間に合わないが、宮下から出るバスを考えている。

Q 自公政権の負担増政治で高齢者の貧困が拡大している。灯油価格は下がっているが、福祉灯油券助成事業を追加補正して実施すべきだ。

A 高齢者の生活は本当に大変だ。追加補正を予定している。当初予算に計上し、恒常的な制度にするべきではないか。

A 非課税だからお金がないとは言えない。県にならって、県が補正を立てたらやる。



保育士の正規化を図るべき

川田 律子 議員

Q 現在、市が運営している保育施設において、保育士の人数は安心して預けられる体制になっているのか。ある児童センターでは産休に入っている保育士がいるが代わりの人が来ない。保護者からも不安の声が上っていると聞かす対応を伺う。

A 児童センターについては市のミスである。保護者からの要望もたくさん頂いた。探しても見つからないのが現状である。12月から1名、1月から1名。ようやく確保した。

Q 保育士不足は、国の政策に大きな誤りがあると思うが、本市でも賃金などの処遇改善や、若い臨時職員や嘱託職員の正規化を図るべきと思うが市長の考えは。

A 嘱託制度や賃金などいい水準とは言えないが相当上げていると思う。正規化については表裏一体になっていると思う。今後4つの施設の民営化で保育士は充足してくると思う。



地域の子育て拠点 西郷児童センター

Q 市長は教育に力を入れていくと言っているが、保育も教育も人づくり。これ以上の民営化はやめるべきと考えるがどうか。

A 残りの4施設については、私の在任中は公設公営でやっていきたい。



徳内大橋の融雪装置修繕は

大山正弘 議員

Q 徳内大橋の融雪装置の修繕について今後の取り組み方を伺う。

A 今年度橋梁診断を実施し、9月には山形県と打合せを行い、技術的なアドバイスと今後の事業実施に向け協力を求めた。点検診

断の結果を踏まえ、来年度に徳内大橋補修及び融雪装置の工法検討実施設計を行う予定である。

Q 建設後1年も満たないのに不具合が生じ修理検討したが、いまだに改善のメドが立っていない現状はなぜ

なのか。

A 山形県、村山市、施工業者による話し合いを幾度か行い、不具合箇所など、原因不明なところもあり、未だ解決には至らない。

今後修繕の事業実施には、県からの技術的な支援、全面的な協力を求め、慎重、かつ確実なものを進めていかなければならない。

Q 旧13号楯岡商店街 晦日町・十日町から駅前までの道路拡張の実現を伺う。

A 現在のところまだ計画はない。将来的には楯岡東根温泉線が終わってからのことになる。一つの案としてであるが、歩行者を優先するような造りで、車は一方通行にし、片側に駐車出来るようなものを考えてみてはどうかと思っている。



冬の徳内大橋

平成28年10月27・28日

議会報告会を開催

議会基本条例で定められた議会報告会が大倉・大高根・袖崎・戸沢の4地域の各市民センターにて開催されました。

27年度決算などが報告され、皆様から活発な質問をお受けしました。なお、今回からテーマを設けての意見交換が行われ、執行部・議会に報告されました。

テーマ

有害鳥獣被害について

(大倉)

- ・鳥獣対策は個人だけでなく地域一丸となつてやる必要がある。
- ・殺処分の方なる検討をしてほしい。
- ・ニホンジカの侵入は避けたい。
- ・鳥獣被害についての行政視察を実施してほしい。
- ・夜間荒らす猪に爆音は効果はあるが、夜間は騒音になってしまう。

(袖崎)

- ・猿は相当数いるのではないかと。電気柵、追いやい払い花火も慣れると飛び越えたり、また山から降りてくる。
- ・猿はアケビの中味で



保育施設について

(大高根)

- ・保育施設が民営化になるが市の関わりはどうか。また市外の人も入園可能か。
- ・来年度から0歳児保育希望者は何人いるか。
- ・保育料半額となっているが、全員が適用に

なるのか。

(戸沢)

- ・なぜ保育施設は民営化になるのか。
- ・村山市の待機児の現在数はどうか。

その他の意見と要望

(大倉)

- ・大倉小学校跡地利用に関し公式サッカー場を要望していたが、それにむけ進めてほしい。
- ・猟友会の処遇改善と猟友会への携帯電話を使った情報収集や連絡方法を確立してほしい。

(袖崎)

- ・危険な状況にある空き家がある。空き家対策は進んでいるのか。
- ・学校、病院へ対応で

きる市営バス運行時間の変更を願う。
 ・小学校給食の米が美味しくないので改善してほしい。



〔戸沢〕

- ・村山市を安心して住める場所にしてほしい
- ・議会報告会の案内は市民の友だけでなく回覧で回してほしい。
- ・一時保育施設の充実を図り、働きやすい環境をつくってほしい。

次回の議会報告会は4月末頃に予定しております。

多くの市民の皆様に参加をお待ちしております。

視察研修

議会だより編集委員会行政視察

平成28年10月18日、村山市議会だより編集委員会は、川西町議会だよりの視察を行いました。川西町議会だよりは、町村議会広報の全国コンクールで2年連続最優秀賞を受賞している議会だよりです。特徴的なのは、広報アドバイザー制を設け、写真部門、文章部門を



任期2年でお願いしていること、各町内から広く意見を聞くために、広報モニター制をとっていることです。頁数も30頁前後と多く編集委員の負担が重いのは、と感じてきました。

山形県市議会議長会議会報研修会

11月9日、山形県市議会議長会議会報研修会がクアハウス基点で行われました。山形新聞社編集局整理部長の斎藤敏広氏を講師に迎え「読んでもらえる議会報づくり」と題し、約2時間講演がありました。1部は、紙面づくりのポイントとして、新聞づくりのノウハウから取材、写真の撮り方、記事の書き方、見出しレイアウト・チェック、その他具体的な



例を挙げながらのわかりやすい講演でした。2部は13市の議会報についての評価でした。各市の良いところ、改良する点について適切な指導を受け一喜一憂する場面が見うけられました。本市の指摘された部分は今後の紙面づくりに反映させていただきます。

(12月定例会において賛否の分れた議案についてのみ掲載しました)

議員名	議決結果	市政・公明クラブ					日本共産党 村山市議員		改革クラブ			無会派			賛成	反対	
		高橋菜穂子	石澤 祐一	長南 誠	秋葉 新一	茨木 久彌	海老名幸司	川田 律子	中里 芳之	菊池大二郎	結城 正	矢口 正	菊池 貞好	佐藤 昌昭			大山 正弘
議員提出議案 発議6号 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	可	○	○	○	○	○	退	退	○	○	○	○	○	○	議	12	0

正副議長及び監査委員は会派に属しません。

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

☑=可決 ☒=否決 ○=賛成 ✕=反対 欠=欠席 退=退席

市民の声



わくわく太陽塾・塾長
井澤 麻砂美さん

私は高校卒業後、地元企業に就職すると共に青年団に入り、20数年にわたり青年団活動に参加しました。青年団の主な活

動としては『納涼盆踊り大会』があります。今は青年団の衰退と共に盆踊りもなくなってしまいましたが当時は開催場所である稲荷神社境内に多くの人が集まりました。準備も大変ですが、年に一度、村の人の笑顔に会える喜びがありました。戸沢地区の行事の1つとして夏祭りがあります。2015年より『盆踊り』が復活しました。私も実行員の一人として参加しましたが、

地区の人が集まり踊る姿は以前に経験した盆踊りそのものでした。村山市では毎年、市や地区で色んな行事が行われています。その行事を継続することで、地区民のつながり、市民のつながりに発展していくのではないかと思います。今後も徳内祭りをはじめ色んな行事に参加していきたいと考えています。



わくわく太陽塾



戸沢納涼盆踊り



戸沢小マーチングバンド

〈表紙写真〉

楯岡小と西郷小の児童からなる西郷ミニバスケットボールスポーツ少年団です。西郷小体育館で週4回練習しています。2017年3月の東北大会（山形市）に向けて、コーチを信じ、仲間を信じ、自分を信じながら、大きな舞台上、笑顔で飛躍できるよう頑張っています。



政務活動費について



みんなの知識

政務活動費は下記の用途基準により支出しています

項目	内容
調査研究費	会派が行う市政の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴衆、住民相談等の活動に要する経費
要望・陳情活動費	会派が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

議会の傍聴へお気軽においでください。

◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中

詳しくは、<http://gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>

村山市議会→議会議中継（ライブ中継・録画中継・外部リンク）より

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

大山 正弘
川田 律子
長南 誠
結城 正
石澤 祐一
高橋菜穂子
菊池大二郎